



## 2025年12月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年2月4日

上場会社名 ユニフォームネクスト株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3566 URL https://uniformnext.com/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横井 康孝  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 早川 光人 TEL 0776 (43) 1034  
 定時株主総会開催予定日 2026年3月25日 配当支払開始予定日 2026年3月26日  
 有価証券報告書提出予定日 2026年3月26日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年12月期の業績（2025年1月1日～2025年12月31日）

#### (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期	9,856	17.4	754	68.6	760	62.8	517	59.2
2024年12月期	8,393	12.6	447	△10.2	467	△9.0	325	△8.3

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年12月期	51.20	—	14.4	14.8	7.7
2024年12月期	32.49	—	10.1	10.4	5.3

(参考) 持分法投資損益 2025年12月期 一百万円 2024年12月期 一百万円

(注) 2025年12月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの希薄化効果を有していないため、記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年12月期	5,356	3,855	71.8	381.26
2024年12月期	4,946	3,358	67.9	332.48

(参考) 自己資本 2025年12月期 3,846百万円 2024年12月期 3,358百万円

#### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年12月期	△98	107	△135	2,232
2024年12月期	728	△14	368	2,358

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年12月期	—	0.00	—	3.50	3.50	35	10.8	1.1
2025年12月期	—	0.00	—	5.00	5.00	50	9.8	1.4
2026年12月期(予想)	—	0.00	—	6.00	6.00		10.1	

### 3. 2026年12月期の業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,000	21.7	900	19.3	909	19.5	600	15.9	59.33

(注) 当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期(累計)の業績予想の記載を省略しております。詳細は、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年12月期	10,123,178株	2024年12月期	10,112,598株
② 期末自己株式数	2025年12月期	10,778株	2024年12月期	10,778株
③ 期中平均株式数	2025年12月期	10,108,544株	2024年12月期	10,002,273株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たったの注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 貸借対照表 .....	5
(2) 損益計算書 .....	7
(3) 株主資本等変動計算書 .....	8
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(持分法損益等) .....	11
(セグメント情報等の注記) .....	11
(1株当たり情報) .....	11
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 経営成績等の概況

### （1）当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の拡大を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、物価上昇や人件費の高騰、地政学的リスクの高まりなど、先行きは依然として不透明な状況が続きました。

かかる状況のもと、当社は「ユニフォームの常識を変え、日本の働くを変える」というビジョンの実現に向け、市場シェアのさらなる拡大を目指しました。当期の重要戦略として、マーケティングにおけるターゲットを個人需要から、より継続性・収益性の高い「法人需要」へと明確にシフトいたしました。具体的には、広告運用の最適化により低単価な個人注文の獲得を抑制しつつ、大口発注が見込める法人顧客の新規獲得に注力いたしました。また、ホールセール部門においては、ECサイト経由で流入した法人リードに対し、オンラインセールス部隊が能動的にアプローチを行う体制を強化いたしました。これらの施策により、新規顧客の平均購入単価が大幅に上昇するなど「顧客ポートフォリオの質の転換」が進み、売上の拡大と獲得効率の改善を同時に実現いたしました。

#### 【部門別の販売状況】

サービス部門においては、飲食・観光需要の回復に加え、当社オリジナル商品の医療用スクラブやドクターコートの販売が好調に推移しました。特にクリニック市場においては、新規顧客の獲得が順調に進み、部門全体の成長を支えました。これらの結果、同部門の売上高は2,878,333千円（前年同期比3.6%増）となりました。

オフィスワーク部門においては、記録的な猛暑を背景に「ファン付き作業服」の販売が大きく伸びました。特に当期は、法人顧客の開拓が進んだことで、1注文あたりの購入単価が上昇し、新規顧客売上が既存顧客売上の伸び率を上回る高い成長を見せました。また、需給予測に基づき戦略的に在庫を確保したことで、繁忙期の販売機会を最大限に取り込みました。これらの結果、同部門の売上高は5,663,952千円（同18.0%増）となりました。

また、組織体制を強化したホールセール部門においては、ECサイトやアプリ「ユニネク®」を活用した提案サービスの拡充により、高単価な法人受注の獲得が加速しました。マーケティング部門との連携により獲得した良質なリードを確実に受注へと繋げた結果、同部門の売上高は1,314,441千円（同60.8%増）と大幅な増収を達成し、全社の成長を牽引いたしました。

#### 【販売費及び一般管理費の状況】

販売費及び一般管理費におきましては、将来の成長基盤を盤石にすべく、人材採用や賃上げによる人的資本への投資、および業務効率化に向けたITシステムへの投資を継続的に実施いたしました。広告宣伝費については、積極的な投資を行いつつも、ターゲットを法人に絞込んだことで投資対効果（ROAS）が向上いたしました。また、法人顧客比率の上昇に伴い1件あたりの注文規模が拡大したことで、配送等の流通コスト効率も大幅に改善いたしました。これらの結果、販売費及び一般管理費の総額は増加したものの、増収効果と「質の転換」によるコスト構造の良化が奏功し、利益率の向上に大きく寄与いたしました。

以上の結果、当事業年度の業績は、売上高9,856,728千円（前年同期比17.4%増）となりました。利益に関しては、上記のような「高単価な新規獲得」と「コスト効率の改善」が相乗効果を生んだことから、営業利益754,210千円（同68.6%増）、経常利益760,903千円（同62.8%増）、当期純利益517,560千円（同59.2%増）となりました。

### （2）当期の財政状態の概況

#### （資産）

当事業年度末における資産合計は、前事業年度末に比べ409,460千円増加し、5,356,369千円となりました。流動資産は、前事業年度末に比べ580,399千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が125,635千円減少したものの、商品が646,597千円増加したことによるものであります。固定資産は、前事業年度末に比べ170,939千円減少いたしました。これは主に、固定資産の圧縮による有形固定資産の減少179,710千円によるものであります。

#### （負債）

当事業年度末における負債合計は、前事業年度末に比べ87,283千円減少し、1,500,958千円となりました。流動負債は、前事業年度末に比べ12,724千円増加いたしました。これは主に、未払消費税等が126,691千円減少したものの、未払法人税等が123,938千円、賞与引当金が13,000千円増加したことによるものであります。固定負債は、前事業年度末に比べ100,008千円減少いたしました。これは、長期借入金金が100,008千円減少したことによるものであります。

## （純資産）

当事業年度末における純資産合計は、前事業年度末に比べ496,743千円増加し、3,855,410千円となりました。これは、譲渡制限付株式報酬としての新株の発行による資本金の増加2,708千円、資本剰余金の増加2,708千円、当期純利益517,560千円及び剰余金の配当35,356千円によるものであります。

## （3）当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、2,232,945千円となり、前事業年度末に比べ、125,635千円減少いたしました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、98,231千円（前年同期は、728,888千円の獲得）となりました。これは主に、税引前当期純利益769,842千円、減価償却費75,845千円、棚卸資産の増加650,351千円、法人税等の支払額137,429千円等によるものであります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果獲得した資金は、107,959千円（前年同期は、14,534千円の使用）となりました。これは主に、補助金等の受取額等188,649千円、有形固定資産の取得による支出77,766千円、無形固定資産の取得による支出2,030千円等によるものであります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、135,364千円（前年同期は、368,384千円の獲得）となりました。これは、長期借入金の返済による支出100,008千円と配当金の支払額35,356千円等によるものであります。

## （4）今後の見通し

今後の見通しにつきましては、雇用・所得環境の改善を背景に国内経済の緩やかな回復が期待される一方で、人手不足の深刻化や物流コストの上昇、為替変動による仕入価格への影響など、先行きは依然として不透明な状況が続くものと予想されます。

かかる状況のもと、当社は「売上高100億円企業のその先」を見据え、収益性の高い法人顧客の獲得と基盤強化に注力してまいります。マーケティングにおいては、広告運用の最適化により顧客ポートフォリオの質的転換を図り、獲得効率と購入単価の向上を目指します。また、営業部門では、EC経由の大口案件に対するオンラインセールス体制を拡充し、LTV（顧客生涯価値）の高い優良顧客の囲い込みを推進いたします。

以上の結果、翌事業年度（2026年12月期）の業績見通しにつきましては、売上高12,000百万円（前年同期比21.7%増）、営業利益900百万円（同19.3%増）、経常利益909百万円（同19.5%増）、当期純利益600百万円（同15.9%増）を予想しております。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は連結財務諸表を作成していないため、国際会計基準に基づく財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年12月31日)	当事業年度 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,358,581	2,232,945
受取手形	876	125
電子記録債権	2,885	1,017
売掛金	334,364	358,699
商品	569,753	1,216,351
貯蔵品	1,707	5,461
前払費用	16,295	38,285
未収消費税等	—	12,235
その他	1,644	1,395
貸倒引当金	△161	△169
流動資産合計	3,285,948	3,866,347
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,320,993	1,092,171
構築物（純額）	27,098	21,964
機械及び装置（純額）	15,557	20,754
車両運搬具（純額）	—	2,493
工具、器具及び備品（純額）	10,085	8,616
土地	216,779	272,498
有形固定資産合計	1,590,513	1,418,500
無形固定資産		
ソフトウェア	9,774	6,082
その他	905	851
無形固定資産合計	10,679	6,934
投資その他の資産		
投資有価証券	5,000	5,000
長期前払費用	3,658	2,865
繰延税金資産	33,205	37,925
その他	17,903	18,795
投資その他の資産合計	59,767	64,587
固定資産合計	1,660,961	1,490,021
資産合計	4,946,909	5,356,369

（単位：千円）

	前事業年度 (2024年12月31日)	当事業年度 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
電子記録債務	286,455	282,247
買掛金	352,308	342,969
1年内返済予定の長期借入金	100,008	100,008
未払金	210,494	236,594
未払費用	6,133	8,127
未払法人税等	72,473	196,411
未払消費税等	141,422	14,731
契約負債	29,334	34,748
前受金	31,981	20,697
預り金	2,788	2,494
賞与引当金	40,000	53,000
その他	6,526	620
流動負債合計	1,279,924	1,292,648
固定負債		
長期借入金	308,318	208,310
固定負債合計	308,318	208,310
負債合計	1,588,242	1,500,958
純資産の部		
株主資本		
資本金	368,751	371,460
資本剰余金		
資本準備金	338,751	341,460
その他資本剰余金	34,268	34,268
資本剰余金合計	373,020	375,728
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	2,617,105	3,099,309
利益剰余金合計	2,617,105	3,099,309
自己株式	△210	△210
株主資本合計	3,358,667	3,846,288
新株予約権	—	9,122
純資産合計	3,358,667	3,855,410
負債純資産合計	4,946,909	5,356,369



## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当事業年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
売上高	8,393,669	9,856,728
売上原価		
商品期首棚卸高	686,438	569,753
当期商品仕入高	4,953,092	6,585,914
当期商品加工原価	235,927	284,117
合計	5,875,458	7,439,785
商品期末棚卸高	569,753	1,216,351
商品売上原価	5,305,704	6,223,433
売上総利益	3,087,965	3,633,294
販売費及び一般管理費	2,640,700	2,879,083
営業利益	447,264	754,210
営業外収益		
補助金収入	6,407	634
ポイント収入額	11,392	4,780
受取講演料	816	1,413
祝金受取額	2,800	—
その他	1,564	2,227
営業外収益合計	22,980	9,055
営業外費用		
支払利息	2,754	2,315
その他	—	46
営業外費用合計	2,754	2,362
経常利益	467,490	760,903
特別利益		
補助金収入	—	147,149
助成金収入	—	41,500
特別利益合計	—	188,649
特別損失		
固定資産圧縮損	—	179,710
特別損失合計	—	179,710
税引前当期純利益	467,490	769,842
法人税、住民税及び事業税	145,364	257,002
法人税等調整額	△2,881	△4,719
法人税等合計	142,482	252,282
当期純利益	325,008	517,560

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金			利益剰余金	
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計
当期首残高	358,007	328,007	34,268	362,276	2,332,038	2,332,038
当期変動額						
新株の発行 (新株予約権の行使)	5,120	5,120		5,120		
新株の発行 (譲渡制限付株式報酬)	5,624	5,624		5,624		
剰余金の配当					△39,941	△39,941
当期純利益					325,008	325,008
当期変動額合計	10,744	10,744	—	10,744	285,067	285,067
当期末残高	368,751	338,751	34,268	373,020	2,617,105	2,617,105

	株主資本		純資産 合計
	自己株式	株主資本 合計	
当期首残高	△210	3,052,111	3,052,111
当期変動額			
新株の発行 (新株予約権の行使)		10,240	10,240
新株の発行 (譲渡制限付株式報酬)		11,248	11,248
剰余金の配当		△39,941	△39,941
当期純利益		325,008	325,008
当期変動額合計	—	306,555	306,555
当期末残高	△210	3,358,667	3,358,667

当事業年度（自 2025年1月1日 至 2025年12月31日）

（単位：千円）

	株主資本					
	資本金	資本剰余金			利益剰余金	
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計
当期首残高	368,751	338,751	34,268	373,020	2,617,105	2,617,105
当期変動額						
新株予約権の発行						
新株の発行 （譲渡制限付株式報酬）	2,708	2,708		2,708		
剰余金の配当					△35,356	△35,356
当期純利益					517,560	517,560
当期変動額合計	2,708	2,708	—	2,708	482,204	482,204
当期末残高	371,460	341,460	34,268	375,728	3,099,309	3,099,309

	株主資本		新株予約権	純資産 合計
	自己株式	株主資本 合計		
当期首残高	△210	3,358,667		3,358,667
当期変動額				
新株予約権の発行			9,122	9,122
新株の発行 （譲渡制限付株式報酬）		5,416		5,416
剰余金の配当		△35,356		△35,356
当期純利益		517,560		517,560
当期変動額合計	—	487,620	9,122	496,743
当期末残高	△210	3,846,288	9,122	3,855,410

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当事業年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	467,490	769,842
減価償却費	100,845	75,845
固定資産圧縮損	—	179,710
補助金収入	—	△147,149
助成金収入	—	△41,500
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	9	8
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,000	13,000
契約負債の増減額 (△は減少)	12,793	5,414
受取利息及び受取配当金	△11	△102
支払利息	2,754	2,315
売上債権の増減額 (△は増加)	△47,377	△21,715
棚卸資産の増減額 (△は増加)	116,770	△650,351
仕入債務の増減額 (△は減少)	78,372	△13,546
未払金の増減額 (△は減少)	△57,562	26,100
未収消費税等の増減額 (△は増加)	58,486	△12,235
未払消費税等の増減額 (△は減少)	141,422	△126,691
その他	29,533	△17,532
小計	905,528	41,412
利息及び配当金の受取額	11	102
利息の支払額	△2,754	△2,315
法人税等の支払額	△173,896	△137,429
営業活動によるキャッシュ・フロー	728,888	△98,231
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△10,442	△77,766
無形固定資産の取得による支出	△2,889	△2,030
助成金の受取額	—	41,500
補助金の受取額	—	147,149
その他	△1,203	△892
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,534	107,959
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	500,000	—
長期借入金の返済による支出	△91,674	△100,008
配当金の支払額	△39,941	△35,356
財務活動によるキャッシュ・フロー	368,384	△135,364
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,082,738	△125,635
現金及び現金同等物の期首残高	1,275,843	2,358,581
現金及び現金同等物の期末残高	2,358,581	2,232,945

(5) 財務諸表に関する注記事項  
 (継続企業の前提に関する注記)  
 該当事項はありません。

(持分法損益等)  
 該当事項はありません。

(セグメント情報)  
 当社はユニフォーム販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当事業年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
1株当たり純資産額	332.48円	381.26円
1株当たり当期純利益	32.49円	51.20円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	－円	－円

(注) 1. 当事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの希薄化効果を有していないため記載していません。  
 2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当事業年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益金額(千円)	325,008	517,560
普通株主に帰属しない金額(千円)	－	－
普通株式に係る当期純利益(千円)	325,008	517,560
普通株式の期中平均株式数(株)	10,002,273	10,108,544
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額(千円)	－	－
普通株式増加数(株)	－	－
(うち新株予約権(株))	(－)	(－)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	－	2025年2月20日 取締役会決議の新株予約権 普通株式 184,500株

(重要な後発事象)  
 該当事項はありません。